

Allegro assai
Baritone Solo

f Freu - de, Freu - de, Freu - de, schö - ner

f Freu - de! Freu - de!

Allegro assai
Ob.
Clar. *dolce*
Fag.
Cor.

Archi pizz. *pp* Archi pizz.

Göt - ter - fun - ken, Toch - ter aus E - li. Wir be - tre - ten feu - er - trun - ken,

Himm - li - sche, dein Hei - lig - tum! In - ne - nau - ber bin - den wie - der, was die Mo - de

streng ge - teilt; al - le Men - schen wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weit.

cresc. *p* Legni

第九



2022春日井市民第九演奏会

とき **2022.12.4** (日) 15:00開演 ところ **春日井市民会館**

主催／春日井市・春日井市教育委員会・公益財団法人かすがい市民文化財団・春日井市民第九演奏会実行委員会

共催／春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団

後援／中部大学・中日新聞社



2022春日井市民第九演奏会実行委員会名誉会長

春日井市長 **石黒 直樹**



本日は、「2022春日井市民第九演奏会」にお越しいただき、誠にありがとうございます。本演奏会は、平成5年12月に市制50周年記念事業として開催して以来、今年で29回目を迎えます。第1回が開催されて以来、市民の皆様が主体となって運営を行う演奏会として親しまれ、本市の年末の恒例行事となっています。新型コロナウイルスの感染はいまだ終息に至りませんが、少しずつ従来の形に近づけながら開催できますことは誠に喜ばしく、これも市民の皆様の熱意とともに、音楽監督・指揮者の井村誠貴氏や、春日井市民第九合唱団と春日井市交響楽団をはじめとする関係の皆様のご尽力の賜物と、心から敬意と感謝を申し上げます。今回は、ソリストに春日井広報大使の飯田みち代氏など、各方面で活躍する方々をお迎えし、ご来場の皆様にも迫力のある演奏をお届けできることと期待しております。今年も残すところあと僅かとなりました。慌ただしく感じる年の瀬ですが、躍動感あふれるオーケストラと、華麗な歌声が彩る「第九」の調べを、最後までごゆっくりとお楽しみください。

2022春日井市民第九演奏会実行委員会会長

中部大学長 **竹内 芳美**



本日は「2022春日井市民第九演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。29回目を迎えるこの演奏会は、1993年に春日井市制50周年記念事業として始まりました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、客席に合唱団を配置し、ソーシャルディスタンスを保持しながらの公演でしたが、今年度は再び、合唱団がステージ上に登壇します。6月の結団式を経て、幾度となく練習を積み重ねてきた歓喜の歌声を皆さまにお届けいたします。音楽監督・指揮者の井村誠貴氏、合唱指導の松下伸也氏、西畑佳澄氏をはじめ先生方による熱心なご指導により、春日井市民第九合唱団、春日井市交響楽団の団員たちは、第九への情熱を力にして一丸となり練習を重ねて参りました。そして、4名のソリスト、飯田みち代、石原まりあ、古屋彰久、池田真己の各氏をお招きし、演奏会に華を添えていただきます。前プログラムでは、源田俊一郎編曲『ふるさとの四季』から聞き馴染みの深い6曲をお聴きいただき、四季を感じつつ、故郷・春日井に思いを馳せていただきます。年末の風物詩となっている「第九」。いつの頃からか人々を惹きつけ、和やかにし、そして魅了し続けています。年の瀬のひととき、「歓喜の歌」とも称される、この「第九」と共に心ゆくまで音楽の泉に身を委ねてください。

2022春日井市民第九演奏会

音楽監督 **井村 誠貴**



《春日井市民第九・・・新時代へ》

コロナ自粛が長らく続いた日本。2020年は全国で第九演奏会が中止。奇しくもベートーヴェン生誕250年という節目の年と重なったのは残念の極みである。春日井市民第九も市民の安全を最優先に考え、開催を断念。もう二度と第九演奏会は出来ないのではないのか…とまで思えた厳しい状況が続いた。翌21年、私達は安心・安全に演奏会を開催できる方法を、出演者・スタッフ一丸となって模索し、知恵を出し合った。飛沫対策・換気の徹底・ソーシャルディスタンス。そして見出した唯一の方法として、合唱団とオーケストラの配置転換を決断。合唱団を客席前方に配置した。当然演奏面での難しさを伴った。合唱団は指揮者を直接見られない為、客席後方に大型スクリーンを配置し、指揮者映像で対応。演奏に適さない客席で歌う合唱団の響きをマイク等で補強。ソーシャルディスタンスの為、合唱団の人数を通常の半分以下に制限。これだけの厳しい条件の中でも『春日井市民第九の灯りを消さない!』という強い想いが、感動のステージへと繋がった。出演者・スタッフがこれまで以上に話し合い、結束できた事は、コロナ禍に於ける大きな副産物となった。22年、合唱団もステージに戻り、通常の配置で演奏。それは単にコロナ前に戻すのではなく、withコロナでの第九の在り方を模索した『新時代』の幕開けでもある。『困難や壁は人をより進化させる』と私は思っている。この辛く厳しかった3年をどう未来に繋げて行くのかが大きな課題。私達は、新たに就任された石黒市長と共に、そして中部大学をはじめとする春日井を支える多くの方々と共に、『新時代・春日井市民第九』をこれからも創って行く。



プログラム Program

源田 俊一郎 編曲

『ふるさとの四季』より

「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「村祭」「紅葉」「雪」

ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 作曲

Ludwig van Beethoven (1770-1827)

交響曲 第9番 二短調 作品125 「合唱付」

Symphony No. 9 in D minor op.125 "Choral"

- 第1楽章 アレグロ マ ノン トロッポ エ ウン ポコ マエストーソ
1st mov. Allegro ma non troppo e un poco maestoso
- 第2楽章 モルト ヴィヴァーチェープレスト
2nd mov. Molto vivace - Presto
- 第3楽章 アダージョ モルト エ カンタービレーアンダンテ モデラート
3rd mov. Adagio molto e cantabile - Andante moderato
- 第4楽章 フィナーレ：プレストーアレグロ アッサイーレシタティーヴォーアレグロ アッサイ
4th mov. Finale: Presto - Allegro assai - Recitativo - Allegro assai



管弦楽 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」オーケストラです。1990年に創設され、現在の団員は約60名で、毎年7月の定期演奏会と12月の第九演奏会を中心にオーケストラ活動を行っています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当団も定期演奏会の開催を見合わせた年もありましたが、本年は様々な対策を講じた上で30回目という節目の演奏会を開催することができました。また、前年の第九演奏会は新型コロナウイルス感染症対策のため、合唱団を客席に配置して開催しましたが、本年は舞台上でオーケストラと一緒に演奏することが出来ることとなりました。さらに、演奏会に向けての練習も、換気などに気を配りながら以前とほぼ同じような頻度で行うなど、徐々にコロナ前の状況に戻りつつあると感じています。今後も予想もできないような事が起こるかもしれませんが、引き続き良い音楽をお届けできるよう努めていきたいと考えております。最後になりますが、第九演奏会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(団長 後藤 哲也)



合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、1993年(平成5年)春日井市制50周年記念事業として開催された「第九演奏会」の初演を機に市民公募により結成されました。その後、毎年団員を公募し、12月に開催される市民による手作りの「第九演奏会」に向け、音楽監督、各合唱指導の先生方の熱心な指導のもと、ベートーヴェン作曲「交響曲第九番第4楽章」合唱を歌い継いできました。2019年暮れから、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に世界中に広がり、2020年度の「第九演奏会」は中止となりました。2021年度は厳しい状況下にありましたが、万全の感染防止対策を施し、無事演奏会を開催することが出来ました。今年度も第九演奏会に向け、前向きに「第九」を歌い上げたいという強い気持ちを持った団員115名が、お互いに感染対策のルールを厳守し、6月より練習に励んできました。本番では、団員一体となった心からの「歓喜の歌声・叫び」を観客の皆様様に捧げ、「今できる、最良の第九演奏会」にしたいと思っております。最後に、第九演奏会開催に際し、いつも以上にご尽力をいただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。これからも末永く、ご支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

(団長 黒澤 清海)



出演者紹介

Profile

指揮 井村 誠貴 Masaki Imura



指揮者。大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積む。オペラレパートリーは50演目を超え、2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなど、オペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等を客演。さらにOsaka Shion Wind Orchestra (旧大阪市音楽団)、シエナ・ウィンド・オーケストラ等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。ミュージカルでは「レ・ミゼラブル」「マイ・フェアレディ」「ラ・カージュ・オ・フォール」等のロングラン公演を指揮。また、岩崎宏美や南こうせつ、夏川りみとの共演や、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン!」と題して、一日でベートーヴェンの全交響曲を一人で指揮。そのギネス級の活動は大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。9回の演奏会で5,400万円を超える義援金を届けた。指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。関西音楽人のちから『集』代表、2012年より春日井市民第九演奏会音楽監督。

ソプラノ 飯田みち代 Michiyo Ida



日本を代表するソプラノ歌手。その演奏歴は枚挙の暇なく、日生劇場と東京二期会周年記念オペラ「ルル」「メデア」「アイナダマール」、びわ湖ホール周年記念オペラ「死

の都」、サントリーホール周年記念オペラ「パン屋大襲撃」等数々主演、高い評価を受け公演の芸術大賞受賞に寄与。

「音楽の友」誌上で世界のディーヴァベスト100に選ばれ、「陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す驚くべき才能」(音楽現代誌)と絶賛された。京都大学卒業、愛知県芸術選奨受賞他受賞多数、春日井広報大使。

アルト 石原まりあ Maria Ishihara



愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院声楽領域修了。コンセルヴァトリーオ名古屋二期会マスターコース(プロフェッショナルコース特待生)修了。小澤征爾音楽

塾オペラ塾生、札幌パシフィックミュージックフェスティバル(PMF)アカデミー生。これまでに、『蝶々夫人』スズキ、『ホフマン物語』ミューズ・ニクラウス、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ他、多数のオペラ、コンサートに出演。第20回長江杯国際音楽コンクール声楽一般部門2位。声楽を中島基晴、ビルギッタ・ノルトファルク、戸山俊樹、浜田理恵の各氏に師事。名古屋二期会準会員。春日井コンサートグループ花の詩会員。中部日本スウェーデン協会会員。栄中日文化センター「女声コーラス」講師。稲沢市社会福祉協議会後援事業「歌って健康講座」講師。

テノール 古屋 彰久 Akihisa Furuya



名古屋音楽大学声楽科首席卒業、同大学院修了。びわ湖ホール声楽アンサンブルメンバーとして6年間活動。退団後渡伊、イタリア・ボローニャにて研鑽を積む。シエナ、ロツツイ劇

場にてヘンデル作曲『時と悟りの勝利』の「時」役でイタリア劇場デビュー。オペラでは『ウインザーの陽気な女房たち』フェントン、『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、『愛の妙薬』ネモリーノ、『ラインの黄金』ローゲ、『ルサルカ』王子、『つばめ』プルニエなどを演じる。オラトリオでもベートーヴェン『第九』、ヘンデル『メサイア』、サン＝サーンス『クリスマスオラトリオ』、グノー『荘厳ミサ』、モーツァルト『戴冠ミサ』等、数多くのテノールソロ、典礼劇『ダニエル物語』ダニエル役を務める。これまでに松下雅人、二塚直紀、W・マッテウツィ、ドラガン・パビック、ジュリアーナ・バンツァ、基村昌代の各氏に師事。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。

バリトン 池田 真己 Masaki Ikeda



1990年生まれ。大阪と京都の境目、大阪府島本町在住のバリトン歌手。大阪府立春日丘高校を経て京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第37回飯塚新人音楽コンクール第2位。

2017年ベートーヴェン第九交響曲日本初演の聖地、鳴門市で第九バリトンソロデビュー。これまでオペラ「ラ・ボエーム」マルチェロ、「赤い陣羽織」代官などを演じる。2019年には日生劇場NISSAY OPERA「ヘンゼルとグレーテル」父役で東京におけるオペラデビューを飾った。2021年2月日本演奏連盟《新進演奏家育成プロジェクト》に選ばれ、ザ・シンフォニーホールにて日本センチュリー交響楽団と共演。今回は、2019年以来3年ぶり2度目の春日井市民第九演奏会への出演である。また地元では「島本ジュニアコーラスくすのキッズ」の指導に携わり、子供たちと日々音楽を楽しんでいる。サントリー1万人の第九指導者。現在、神戸市混声合唱団団員。



客演コンサートマスター

平光 真弥 *Shinya Hiramitsu*

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。2005年、同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、Ewald Danel、岡山芳子の各氏に師事。指揮を紙谷一衛氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。併せて、聴衆賞、オーナー賞も獲得。2007年、2010年及び2012年小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風 音楽賞」受賞。2012年には講師特別賞も同時受賞。これまで、プラハ放送交響楽団等ソリストとして多数のオーケストラと共演。2000年からウィーン岐阜管弦楽団、2004年～2021年3月愛知室内オーケストラのコンサートマスターを務めるほか、神戸室内合奏団などの客演コンサートマスターを務める。クラシック音楽を親しみやすくより身近に感じてもらうために、サロンコンサートや学校アウトリーチ等も精力的に行い地域に根ざした音楽活動を展開。愛知県立芸術大学非常勤講師。2022年4月～中部フィルハーモニー交響楽団常任客演コンサートマスター。平成29年度愛知県芸術文化選奨新人賞受賞。



合唱指導

松下 伸也 *Shinya Matsushita*

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。在学中より演奏活動を開始し、名古屋二期会、名古屋オペラ協会等にて主要キャスト、また第九等コンサートソリストとして多数出演する。その演奏経験を活かした合唱団指導は第九（ドイツ語）、メサイア（古語英語）、ミサ曲（ラテン語）の他フランスオペラ、イタリアオペラ合唱や邦人作曲家による新作品等多岐にわたり、声楽家として確立された発声メソッドと最後まで団員を信頼し、寄り添った指導で中学校や企業合唱団の講師としてもたびたび招聘されている。コンサートグループ「花の詩」会員として文化スポーツ都市宣言をした春日井市の芸術活動の一翼を担う他、北名古屋音楽芸術協会ムジカフェンテ、守山の文化を考える会各会員。近年では音楽のすそ野を広げるべく障がい者や小さいお子様のためのおしゃべりつきコンサートやサロンコンサートを企画・出演の他、愛知淑徳大学福祉貢献学部准教授として保育士養成校の表現活動の指導にも関わる。岐阜県立加納高等学校音楽科非常勤講師。声楽を福島明也、故・矢田部義弘、末吉利行の各氏に師事。



合唱指導

西畑 佳澄 *Kasumi Nishihata*

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院声楽専攻首席修了。これまでに、故田中万美子、佐橋美起、末吉利行、各氏に師事。オペラでは、「魔笛」クナーベⅡ、パミーナ役「カルメル会修道女の対話」サンシャルル役、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「愛の妙薬」ジャンネッタ役、「ワルキューレ」ヘルムヴィーゲ役で出演。また、宗教曲のソリストとしても高い評価を得ている。現在、愛知県を中心に、オペラや演奏会に多数出演している。愛知東邦大学非常勤講師、春日井市民第九合唱団、知多市勤労文化会館第九合唱団、中川区みんなで歌おう第九合唱団、アーチ・ヴォイス長久手指導者。

ピアノ伴奏 竹内 理恵 重左 恵里 近藤 杏美
 管弦楽指導 柴田 祥 長縄 洋
 弦指導 石橋 隆弘

BRAVO!



本日はご来場ありがとうございます。

コロナ禍でのコンサートのため、声を出す代わりにこのプログラムを掲げて「BRAVO! (ブラヴォー!)」の思いを伝えていただけると幸いです。

2022春日井市民第九演奏会 出演者・スタッフ 一同



アンケートにご協力を
お願いします